

令和5年度

# 全国商業經濟教育研究協議会



主 催      公 益 財 団 法 人   全 国 商 業 高 等 学 校 協 会

## 目 次

1. 令和5年度 第38回商業経済検定試験 出題・作問の意図.....	1
2. 令和5年度 第38回商業経済検定試験 アンケート集計.....	4
3. 令和5年度 科目別・項目別出題基準 .....	19
4. 令和5年度 第38回商業経済検定試験受験申込者・受験者・合格者数一覧表 .....	20
5. 令和5年度 第38回商業経済検定試験受験者数一覧表 .....	21
6. 商業経済検定試験申込者数および合格率推移表 .....	22
7. 令和5年度 第38回商業経済検定試験 第1級満点賞一覧表.....	24
8. 令和5年度 第38回商業経済検定試験 全科目合格者表彰一覧表 .....	25
9. 令和6年度 科目別・項目別出題基準 .....	26
10. 各種確認事項 .....	27

## 令和5年度 第38回 商業経済検定試験 出題・作問の意図

### 【ビジネス基礎】

今回の検定問題では、昨年と同様、新学習指導要領に沿って基礎的・基本的事項を中心に出题し、「科目別・項目別出題基準」に沿って問題を作成した。「ビジネス基礎」の検定取得を契機に、商業経済検定1・2級取得奨励になればと考えている。

①は経済と流通から、生活用品と産業用品に関する特徴について出題した。②は企業活動から、株式会社の特徴を理解しているかを問う内容を出題した。③は経済と流通から、経済主体の一つである企業について基礎的な内容を問う出題をした。④は取引とビジネス計算から、売買取引の用語やビジネス計算の基礎を問う出題とした。

⑤はビジネスに対する心構えから、コミュニケーションやマナー、情報の活用について出題した。⑥は持続可能な社会の実現をめざしている企業についての内容を出題した。本文中のA球団は北海道日本ハムファイターズをモデルとした。

⑦は小売業の様々な業態に関する特徴を理解しているかを問う内容を出題した。⑧は情報通信業の役割と新たなビジネスの展開について基本的な出題をした。⑨は物流業について、効率的な物流システムの構築に関する基本的な内容を出題した。A社はおたふくソースをモデルとした。

⑩は取引とビジネス計算から、取引条件を設定する際の知識理解について出題をした。事例として、製茶業を行う地域ビジネスを参考とした。⑪は企業活動から、企（起）業家精神及び企業の社会的責任とマーケティングについて出題した。事例として、「スパイバー」を参考とした。⑫は企業活動から、昨年の賃上げ状況を参考に雇用に関する出題とした。

⑬は取引とビジネス計算から、売買契約の締結と履行について出題した。音響業務を営む会社が音響機器の買い替えを業者に依頼し、購入後小切手で代金を支払うという事例を問題とした。売買取引の一連の流れについて、必要な書類や内容について理解しているかを問う内容とした。

ビジネス基礎は、商業科目の基礎的な科目とし

て、本文をよく読み、内容を理解したうえで解答をしてもらえるよう留意して作問した。生徒たちがこの知識を基として、商業科目の発展した知識の習得につながることを期待したい。

### 【マーケティング】

学習指導要領における目標・ねらいを考慮し、概ね「科目別・項目別出題基準」に沿って出題した。作問にあたり、科目としてふさわしい内容、文章構成になるように努め、2社の教科書を参考に基礎的・基本的な出題をするように心がけた。出題形式に関しては、記号選択問題42問、記述問題8問とした。記述問題については2社の教科書に記載されている用語を出題するようにした。

①～③は、現代市場とマーケティングからの出題とした。①は、マーケティング・コンセプトの発展について、②は、マーケティング環境の分析について、③は、エナジードリンクメーカーを事例として、STPについて出題した。

④⑤は、市場調査からの出題とした。④は、市場調査の種類について、⑤は、真空断熱ボトルメーカーを事例として、市場調査の概要について出題した。

⑥～⑧は、製品政策からの出題とした。⑥は、菓子メーカーを事例として、製品のライフサイクルについて、⑦は、重機メーカーを事例として、製品政策の動向について、⑧は、販売計画と生産計画について出題した。

⑨⑩は、価格政策からの出題とした。⑨は、菓子メーカーを事例として、価格設定について、⑩は、旅行業を営む企業を事例として、価格政策の動向について出題した。

⑪⑫は、チャネル政策からの出題とした。⑪は、チャネル政策の概要について、⑫は、衣料品や生活用品など扱うメーカーを事例として、チャネル政策の動向について出題した。

⑬⑭は、プロモーション政策からの出題とした。⑬は、インターネット広告について、⑭は、テーマパークを運営する企業を事例として、広報やクチコミなどについて出題した。

これらの問題を通じて、経済社会や各企業のマーケティング活動に目を向け、常にその変化を意識して欲しいと考えている。そのため、教科書に記載されていない内容に関しては時事問題として出題したが、本文をよく読むことで内容が理解でき、正答が導き出せるように配慮した。

### 【経済活動と法】

各出題分野から作問し、おおむね「科目別・項目別出題基準」に沿って出題した。法律は難しいというイメージをもつ生徒が多いと考えている。そのため、生徒に馴染むような身近な話題や時事的要素を取り入れ、教科書でしっかり学んでいれば解答できるように作問するよう心掛けた。

①②は経済社会と法、法の意義と体系、法の適用と解釈から出題した。経済活動と法の導入の分野であるので、基本的な出題になるように心掛けた。

③～⑦は権利・義務とその主体、物と財産権、知的財産権から出題した。ほぼ毎年出題されている問題なので過去問題や事例検討などで学習すれば得点できると考えている。また、知的財産権については基礎的な内容を理解してほしいと考え、近年話題になっている生成AIを題材として⑦で出題した。

⑧～⑭は契約と債権から、契約と意思表示、売買契約と賃貸借契約、債権の管理と回収について出題した。意思表示や条件、債務不履行や契約の分類など均等に①～⑭出題した。賃貸借や連帯保証債務などは、今後の生活において必要であるという観点から出題した。また、任意代理や初日不算入の原則に関する期間などは、事例として知っておいてほしい内容であると思い出題した。

選択問題Ⅰの会社に関する法の①は、手形・小切手について出題した。簿記やビジネス基礎、総合実践などでも扱う内容であり、より一層理解してほしいと考え出題した。②は、持分会社、定款について出題した。

選択問題Ⅱの企業の責任と法の①は法令順守から出題した。近年、企業の不祥事が相次ぎ、生徒にとっても身近な話題であると思い出題した。②は、労働と法から出題した。生徒が就職した際に役立てばよいと思い出題した。選択問題は、難

易度や記述問題が偏らないようにバランスをとって作問するよう心掛けている。

令和6年度から科目名も「ビジネス法規」と変更される。教科書の内容を慎重に検討し、生徒が身近に感じられるような作問を心掛けたい。

### 【ビジネス経済A】

学習指導要領における「ビジネス経済」の目標・ねらいを考慮し、おおむね事前に提示した「科目別・項目別出題基準」のとおり出題した。

出題形式に関しては、ほぼ例年通りとし、記号問題41題、記述式問題9題とした。

「ビジネス経済」では、「ミクロ経済学」・「マクロ経済学」の基礎的な知識を学習し、経済のしくみや概念について理解させ、経済理論から、価格の決定・景気の循環・経済政策の影響などに着目し、経済事象を主体的に考察する能力と態度を育てることが求められる。

教科書を見ると、他の科目と比較して、用語が難しいなどのイメージがあるため、できる限り教科書の事例に加えて、最近の時事問題も題材とし、高校生にとってイメージしやすい事例を出題するよう心掛けた。また、用語の暗記に終始させるだけでなく、経済に関連する題材を読み込ませることで、思考力・判断力を問う出題も行った。

作問にあたり、1・2級の他科目と重複する内容については、科目間で調整した。

①は、中古車市場を例に市場経済について出題をした。②は、現代の市場から金融市場に関する出題をした。③は、需要に関する出題で価格弾力性を中心に①～③出題した。④は、最適生産に関する問題を出題した。⑤は、ホテル業界の繁忙期、閑散期を題材に価格決定のしくみ及びグラフの読み取り問題を出題した。⑥は、市場の役割と課題から外食産業に関する問題を出題した。⑦は、情報の非対称性に関する問題を出題した。

⑧は、GDPに関する問題を出題した。⑨は、CPIに関する問題を出題した。⑩は、経済成長に関する問題を出題した。⑪は、経済指標に関する問題を出題した。⑫は、国の予算に関する問題を出題した。⑬は、税に関する問題を出題した。⑭は、金融政策に関する問題を出題した。

最後に、商業経済検定科目「ビジネス経済A」

は、今回の検定で最後となる。今まで指導にあられた先生方に感謝を申し上げるとともに、「ビジネス経済A」における指導を糧として、今後の指導にいかして頂ければ幸いである。

### 【ビジネス経済B】

学習指導要領における「ビジネス経済応用」の目標・ねらいを考慮し、おおむね事前に提示した「科目別・項目別出題基準」のとおり出題した。

①は、わが国の雇用の特色を扱いながら、ジョブ型雇用やリスクリングにも興味・関心を持って欲しいと考え出題した。②は、サービス業の特徴の理解や、対個人サービス産業の分類、対事業所サービス産業の分類についての理解して欲しいと考え出題した。

③は、TPPがイギリスの加盟を認めたニュースを扱いながら、経済統合について理解を深めて欲しいと考え出題した。④は、2019年と2022年の国際収支状況を比較しながら、国際収支が世界情勢によってどのように変化するのか、思考・判断して欲しいと考え出題した。⑤は、アメリカ政府の電気自動車への政策を扱いながら、経済の国際化について理解して欲しいと考え出題した。⑥は、ビジネスの事例を扱いながら、金融のグローバル化について理解して欲しいと考え出題した。⑦は、アメリカの銀行破綻を扱いながら、金融取引について理解して欲しいと考え出題した。⑧は、M&Aを扱いながら、資本市場の動向に興味・関心を持って欲しいと考え出題した。

⑨は、三つの側面にみることができ日本の経営の特色のなかの、雇用慣行の面の特徴について理解して欲しいと考え出題した。⑩は、企業をとりまく外部環境の変化について、また、その変化に対して、どのような企業経営が必要とされているのかについて理解して欲しいと考え出題した。⑪は、企業が果たすべきCSR(企業の社会的責任)に関して理解を深めて欲しいと考え出題した。⑫は、わが国の企業の海外進出がどのように行われてきたかを理解して欲しいと考え出題した。

⑬は、ベンチャー企業について、また、ベンチャー企業に対しての支援制度に関して理解して欲しいと考え出題した。⑭は、私たちが暮らす地域には、自然や文化、産業においてさまざまな資源

が存在することや、それらの資源を活用した地域ビジネスに関して、興味をもってもらいたいと考え出題した。

### 【ビジネス・マネジメント】

学習指導要領における目標・ねらいを考慮し、概ね「科目別・項目別出題基準」に沿って出題した。作問にあたり、科目としてふさわしい内容、文章構成になるように努め、基礎的・基本的な出題をするように心がけた。出題形式に関しては、記号選択問題42問、記述問題8問とした。

①②は、ビジネスとマネジメントからの出題とした。マネジメントの役割や創業者や経営者の理念について、事例をもとに出題した。

③～⑤は、組織のマネジメントからの問題とした。組織の形態から「事業部制組織」について、経営理念と経営戦略から「PPM」について、企業間連携と事業構造から「企業間連携」について、それぞれ事例をもとに出題した。

⑥～⑩は、経営資源とマネジメントからの出題とした。⑥は人的資源のマネジメントについて、⑦、⑧は物的資源のマネジメントについて、⑨は財務的資源のマネジメントについて、⑩は情報的資源のマネジメントについて、それぞれ事例をもとに出題した。

⑪～⑭は、企業の秩序と責任及びビジネスの創造と展開からの出題とした。⑪はリスク・マネジメントについて、⑫、⑬は企業の社会的責任について、⑭はビジネスの創造の意義と課題について、それぞれの事例をもとに出題した。

今回、ビジネス・マネジメントは、新検定として第1回目となったため、学習指導要領の「目標」や「内容の構成及び取扱い」に沿うよう十分に配慮して作問を行った。

また、この科目を学習することで、ビジネスの場面を想定し、経営資源のマネジメントを行う施策や新たなビジネスの考案に取り組む実践的・体験的な学習活動を学んで欲しいと考えている。

作問に当たっては、2社の教科書の内容に沿ったものとしている。教科書に記載されていない内容に関しては、時事問題として出題し、本文をよく読むことで内容が理解でき、正答が導き出せるように配慮した。

# 令和5年度 第38回 商業経済検定試験 アンケート集計

公益財団法人全国商業高等学校協会  
商 業 経 済 研 究 部

## [1] 一般事項について

1. 次の各事項について、該当する記号をご記入ください

### ・記述式解答について

ア. 増やしてほしい	0	0.0%
イ. 現行でよい	44	95.7%
ウ. 減らしてほしい	2	4.3%

### ・時事問題の取り入れについて

ア. 増やしてほしい	3	6.5%
イ. 現行でよい	43	93.5%
ウ. 減らしてほしい	0	0.0%

### ・前回から2級科目の試験時間が60分から50分へ変更になりました。試験時間について

ア. 時間が短い	0	0.0%
イ. ちょうどよい	43	93.5%
ウ. 時間が長い	3	6.5%

2. 検定試験の実施科目(6科目)、実施時期についてご意見がありましたら、お願いします

- ・実施科目が多く時間が指定されているため、ビジネスBやビジネスマネジメントを受ける場合、長期間待たされる。(岩手)
- ・実施時期はやむを得ないと考える。全種目合格の報告が余裕のない日程のため、手続きの簡素化に向け検討できればありがたい。(山形)
- ・考査時期と重なるため9月、10月あたりの実施または、年2回実施も検討してほしい。(茨城)
- ・できれば、簿記と情報処理の検定を1週間ではなく、もう少し離して実施してほしい。(静岡)
- ・12月後半実施を希望する高校が複数あった。(福井)
- ・進路指導の関係で受験機会が年間2回あるとありがたい。今の時期では、3年生のモチベーション維持が難しい。(京都)
- ・年間行事予定や各検定日程を考えると妥当と思われます。(兵庫)
- ・総合的に考えると、この時期で良い。(鳥取)
- ・今年度は、6科目あり、後の採点・事務処理を期日までに終わらせるのはかなり厳しかった。感染症流行の激しい2月のみの実施(年1回)のため、受験できずに終わってしまう生徒がいるのは悲しい。年2回実施するのは難しいでしょうか。一部の科目だけでも検討してもらいたい。(愛媛)
- ・難しいと思うが、年2回の受験機会があると良い(長崎)

### 3. その他ご意見がありましたらお願いします

- ・CBTを導入できないか？諸注意で解答用紙には「試験場校名・受験番号」を記入してくださいとあるが、解答用紙では「受験校」となっているので、統一できないか(岩手)
- ・時間的負担が大きい。※9時～16時 科目実施時間が決められているが、各学校での判断で時間を変えることが可になれば時間短縮になる。(埼玉)
- ・全科目合格表彰の対象が卒業年度の生徒のみなので、2学年で達成した生徒の申請を来年度忘れそうなのが正直な気持ちである。(分会場で達成者1名)2学年時点で達成者が出ないと見越しての設定かと思われるが、達成者が出たので見直しが必要であると考え。あと一般受験者が表彰対象外なのも少し気になりました。全科目合格は素晴らしい事だと個人的には考えているので。商業高校生対象の検定試験なのは理解していますが、一般受験者の受け入れを可としている以上、表彰対象にしてもよいのでは。(東京)
- ・ビジネスコミュニケーション検定について、年2回実施のうち1回は商業経済検定と同日実施してはどうか。(福井)
- ・商業経済検定は、記述以外はマークシートにしてほしい。(静岡)
- ・簿記実務検定やビジネスコミュニケーション検定などに合わせて、CBT移行の準備をお願いしたい。今回、システムトラブルがあり大変困りました。(京都)
- ・次年度の検定内容について早い段階で知らせたい(徳島)

#### 4. 「新学習指導要領の商業経済検定試験関連科目の開設等」について

※1 回答都道府県本部校 46校

※2 同一校で複数学年にて選択科目として履修予定校があるため、合計数は一致しません。

##### (1) ビジネス基礎

1学年		2学年		3学年	
全生徒 履修	選択科目と して履修	全生徒 履修	選択科目と して履修	全生徒 履修	選択科目と して履修
41	3	2	1	1	0

※ ビジネス基礎は、商業に関する学科における原則履修科目です。履修計画のない場合は、その理由を記述してください。(例. 総合学科 学校設定科目で代替)

総合学科 商業科以外の科目の生徒が履修

##### (2) マーケティング分野

	1学年		2学年		3学年	
	全生徒 履修	選択科目と して履修	全生徒 履修	選択科目と して履修	全生徒 履修	選択科目と して履修
マーケティング	2		11	29		9
商品開発と流通			1	9	1	21
観光ビジネス			1	8	1	23

##### (3) マネジメント分野

	1学年		2学年		3学年	
	全生徒 履修	選択科目と して履修	全生徒 履修	選択科目と して履修	全生徒 履修	選択科目と して履修
ビジネス・マネジメント			2	8	1	17
グローバル経済			1	7	3	21
ビジネス法規			1	7	5	27

##### (4) 新検定試験の実施に向けてのご意見・ご要望等がありましたら記入願います。

- ・各科目ごとの出題範囲の住み分けをはっきりさせて欲しい。(神奈川)
- ・年2回実施するビジネスコミュニケーション検定を、うち1回は商業経済検定とあわせて12月実施してはどうか。学年末考査が終わり自由登校が始まる2月検定は、3年生にはモチベーションが上がりにくい。(福井)
- ・商業経済検定試験問題[商品開発と流通]のサンプル問題(一部)を早やめに提示いただけると助かります。(岡山)
- ・出題について早い段階で知らせたい(徳島)
- ・グローバル経済の内容に関する検定試験の実施について検討をお願いしたい。(高知)



## [2] 「ビジネス基礎」について

### 1. 問題は全般的に適切でしたか。

ア. 適 切【22】                      イ. 概ね適切【16】                      ウ. 不適切【0】

その理由についてご記入ください。

- ・正答率が低いところは、今後の指導改善へ生かしていきたいと思います。(北海道)
- ・基礎・基本をおさえており、学んだことを振り返るのに適切である。(鳥取)
- ・適度に時事問題が取り入れられており、適切であった。(長崎)
- ・量・難易度ともに適切であったと感じる。(熊本)
- ・ビジネスマネジメントとの関係(大分)

### 2. 問題別の難易度について該当箇所に○印をご記入ください

また、ご意見がありましたら、その内容を記事欄にご記入ください

番号	難しい	適切	易しい	記 事
1	0	35	2	・良問（鳥取）
2	0	36	1	・良問（鳥取） ・（4）の「業務執行の方針を決定する取締役」という表現により、Bにする生徒がおりました。（とうほうでは、指名委員会等設置会社においては、業務執行は執行役で、取締役は、経営の意思決定のみ行うと表記されております）（愛媛）
3	0	36	1	・良問（鳥取）
4	0	35	2	・良問（鳥取）
5	5	32	0	・「ビッグデータ」を「ビクデータ」と解答したものが数名いた。（宮城） ・問5をビクと記述する解答が目についた。（鳥取） ・ビッグデータについてビクデータでも可ではの意見があった（徳島） ・問5の「ビッグデータ」を「ビクデータ」と答える生徒が多かった。（愛媛） ・問5について…ビク「ク」データの誤答が多かった。不正解で異論はないが、東京法令出版の教科書で「ク」の表記が一部あるので留意してほしい。（佐賀）
6	0	36	1	・良問（鳥取）
7	2	35	0	・難易度は適切であるが問1～問3まですべてが語句の説明を選ぶ形式のため解答のために問題文を読む必要性がない設問であると感じた。（石川） ・良問（鳥取）
8	1	36	0	・問2用語イ. Society5.0およびウ. 020は、東京法令出版の教科書には載っていないのでは？（新潟） ・良問（鳥取）

番号	難しい	適切	易しい	記 事
9	3	33	1	・良問（鳥取） ・問1の「サプライチェーンマネジメント」の正答率がかなり低かった。（愛媛）
10	2	35	0	・価格の決め方は今までの問題とは形式が違ったため判断が迷う（大阪） ・良問（鳥取）
11	0	36	1	・良問（鳥取）
12	3	34	0	・時事問題として非常によかった（大阪） ・問題文「～施策」から「福利厚生」を連想するのは難しいと思われるので、問2の解答は選択式で良かったのではないかと思います。（和歌山） ・問2漢字ミスが目につく。記述させるのに良問。（鳥取） ・ビジネス基礎・ビジネスマネジメントの問題に「福利厚生」についての出題がある。同じ試験日に実施する検定としては、いかがなものか。（大分）
13	3	34	0	・力の差，思考力を見るのに良い問題。（鳥取） ・注文書の形式を教科書に合わせて欲しい（徳島）

### 3. その他ご意見がありましたらお願いします

- ・写真や統計資料や図表から読み解かせる出題があってもよいと思います。（福井）
- ・最初は40分で時間が足りないのではと心配したが，結果的に丁度良かったです。（鳥取）
- ・商業経済検定試験「ビジネス基礎」は基礎・基本科目として，奨励していきたい。（岡山）
- ・時事問題も含まれており適切であると思われる（徳島）

### [3] 「マーケティング」について

#### 1. 問題は全般的に適切でしたか。

ア. 適 切【26】                      イ. 概ね適切【17】                      ウ. 不適切【0】

その理由についてご記入ください。

- ・特別に対策をする事なく受験することができたため。混乱した様子もなく、難易度も適切だった。(宮城)
- ・時事的な内容を踏まえ、新しいマーケティング用語の出題も多く、適切な良問だったため。(千葉)
- ・記述問題と選択問題がバランスよく散りばめられていた(山梨) 7の問2が難しかった。(新潟)
- ・旧教育課程で学んだ生徒が知らない用語の記述があり、新教育課程で学んだ生徒との不公平感があるように感じた。(富山)
- ・時事ネタも入っていて良問でした。(石川)
- ・教科書の内容や表現に近い記述で出題されていて、答えやすいため。(福井)
- ・問題数・問題の内容ともに良い問題でした。(長野)
- ・良問でした。(静岡)
- ・程よい難易度と感じたため。(京都)
- ・教科書改訂のタイミングで配慮ある出題が為されている。(大阪)
- ・教科書の内容を踏まえつつ、時事問題も盛り込まれている良問であった。(和歌山)
- ・記号、語彙記述ともバランス良く出題されており、内容も適切。1年間の学習が生かされるような良問揃いで、時事的要素も取り入れ、社会の動きにも興味・関心を持つようにとの問作者の考えが読み取れる出題であった。(鳥取)
- ・教科書の範囲から適切に出題されている。(岡山)
- ・良問である(香川)
- ・教科書に準じた問題であり、適切であった。問題の文章が生徒にとつて、イメージしやすく、出題されている用語も基本的な内容で、良問であった。(愛媛)
- ・基礎的な知識を問う良問であった。(長崎)
- ・量・難易度ともに適切であったと感じる(熊本)
- ・教科書に沿った内容である。(宮崎)

#### 2. 問題別の難易度について該当箇所に○印をご記入ください

また、ご意見がありましたら、その内容を記事欄にご記入ください

番号	難しい	適切	易しい	記 事
1	0	41	2	・良問。(鳥取) ・マーケティング基礎問題としては、良問であった。(岡山)
2	2	41	0	・「SWOT」を「SWAT」と答えた誤答が多かった。(和歌山) ・問1を記述にして良かった。(鳥取) ・問1については、良問であった。(岡山)
3	0	43	0	・良問。(鳥取) ・ケース事例としては、良問であった。(岡山)
4	0	42	1	・解答用紙に中点があったのが良かった。(北海道) ・良問。(鳥取) ・適切な問題であった。(岡山)
5	1	40	2	・「標本」を「抽出」と答えた誤答が多かった。(和歌山) ・良問。(鳥取) ・問4については、良問であった。(岡山)
6	2	40	1	・グラフの中身を理解しているかを問う良問であった。(和歌山) ・良問。(鳥取) ・ケース事例としては、良問であった。(岡山)

番号	難しい	適切	易しい	記 事
7	5	38	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問2の選択肢の用語が難しかった。(新潟)</li> <li>・教科書での扱いの本文以外からの出題も、検定を奥行きのあるものとし、良いと思われる。(大阪)</li> <li>・良問。(鳥取)</li> </ul>
8	0	42	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良問。(鳥取)</li> <li>・適切な問題であった。(岡山)</li> </ul>
9	5	38	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中に公式があったのが良かった。(北海道)</li> <li>・需要の価格弾力性の部分が難しいと感じた。(京都)</li> <li>・需要の価格弾力性について、問題文に計算式があるにもかかわらず、読み取れず、ウ)4.0を選択した誤答が多かった。(和歌山)</li> <li>・良問。(鳥取)</li> <li>・適切な問題であった。(岡山)</li> </ul>
10	4	39	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「サブスク」という略称は定着しているが、「サブスクリプション」という正式名称を理解していない生徒が多かった。(和歌山)</li> <li>・問1の記述は正答率が低い。出題としては適切。(鳥取)</li> <li>・問1については、生徒にとって難解であった。(岡山)</li> </ul>
11	1	41	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良問。(鳥取)</li> </ul>
12	3	40	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良問。(鳥取)</li> <li>・適切な問題であった。(岡山)</li> </ul>
13	2	41	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問3「リスティング」を解答できた生徒はいなかった。(和歌山)</li> <li>・良問。(鳥取)</li> <li>・2行目に過去最高の7兆1,021億円の記述があるが、データの出所を明らかにした方がよいのではないかと。(大分)</li> </ul>
14	0	40	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良問。(鳥取)</li> <li>・適切な問題であった。(岡山)</li> </ul>

### 3. その他ご意見がありましたらお願いします

・カリキュラム切り替えの時期、検定内容の変更後の検定で準備等に苦慮した部分があった。※5. 標本と抽出で判断させる問題で訂正があり、試験時に訂正をしっかりと示したが、少なからず混乱があったと思われる。打開策として解答を訂正した方が、生徒の混乱が少なかったと思われます。(北海道)  
 ・全体的に良問でした。例年よりも生徒の正答率が高かったので解きやすい問題であったと思います。(山梨)  
 ・新課程と旧課程に対応したため、出題形式が変わっており、苦戦した問題が見られた。(愛媛)

#### [4] 「経済活動と法」について

##### 1. 問題は全般的に適切でしたか。

ア. 適 切【24】                      イ. 概ね適切【17】                      ウ. 不適切【0】

その理由についてご記入ください。

- ・機会をとらえた問題文や設問が多く、大変適切であったと考える(山形)
- ・基本を押さえておけば合格点に達する内容であった(新潟)
- ・教科書の内容や表現に近い記述で出題されていて、答えやすいため(福井)
- ・問題数・問題の内容ともに良い問題でした(長野)
- ・良問でした(静岡)
- ・過去問題の傾向に即した出題がなされており指導しやすい印象があるから(京都)
- ・妥当な質問である(兵庫)
- ・教科書の内容を踏まえつつ、時事問題も盛り込まれている良問であった(和歌山)
- ・学習した成果を見るのに適切であった(鳥取)
- ・良問である(香川)
- ・教科書に準じており、内容を理解していれば、十分に解ける良問であった(愛媛)
- ・量・難易度ともに適切であったと感じる(熊本)
- ・教科書に沿っている(宮崎)

##### 2. 問題別の難易度について該当箇所に○印をご記入ください

また、ご意見がありましたら、その内容を記事欄にご記入ください

番号	難しい	適切	易しい	記 事
1	1	36	3	・良問(鳥取)
2	5	35	0	・受験者がなかなか「適用」の回答を導かせることが難しかった(京都) ・問1「(法の)適用」という基本的な内容であるにもかかわらず、解答できた生徒はいなかった(和歌山) ・問1は基本中の基本だが、記述としては正答率が低いのではないか(鳥取) ・問1の答え「法の適用」が大問1の問1の選択肢にあったため、逆に不安になり、違う用語にした生徒がいた(愛媛)
3	0	38	2	・良問(鳥取)
4	3	36	1	・胎児の相続の扱いはいつもの内容だが死後の扱いにまで出題が踏み込んでいた(京都) ・問3は学んだことを見るのに良問(鳥取)
5	0	39	1	・良問(鳥取)
6	1	38	1	・良問(鳥取)
7	3	36	1	・問2「商標(権)」を「標商(権)」と誤答するケースがいくつかあった(和歌山) ・問3は正答率がかなり低いのでは。大問としては適切ですが(鳥取) ・著作者人格権は教科書の本文では取り上げられていない(愛媛)
8	1	38	1	・良問(鳥取)
9	1	39	0	・問1について、停止と解除の違いをしっかりと理解しているか見るのに良問(鳥取)
10	0	39	1	・良問(鳥取)
11	4	36	0	・問2を記述解答は適切。問3は難しい(鳥取)

番号	難しい	適切	易しい	記 事
12	1	38	1	・良問(鳥取)
13	0	38	2	・良問(鳥取)
14	2	38	0	・良問(鳥取)
会社に関する法1	1	38	0	・問2のイ. の漢字について。遡では？(シンニョウ点2つ)(鳥取)
会社に関する法2	3	36	0	・問3「社債」と「株式」の違いを理解していない生徒が多かった(和歌山) ・良問(鳥取)
企業の責任と法1	2	38	0	・良問(鳥取)
企業の責任と法2	2	38	0	・良問(鳥取)

### 3. その他ご意見がありましたらお願いします

- ・相続登記に浮いて社会的関心が高まっています。事例を交えた出題を期待しています(福井)
- ・全体を通して良問揃い。この難易度を維持してほしい(鳥取)
- ・一部教科書の記載内容にない出題も見受けられた部分があるように思う。次年度からの新検定に向けてご検討並びに考慮をお願いしたい(大分)

## [5] 「ビジネス経済A」について

### 1. 問題は全般的に適切でしたか。

ア. 適 切【22】                      イ. 概ね適切【13】                      ウ. 不適切【0】

その理由についてご記入ください。

・現在起こっている経済の事象から、自分事のように考えさせるような問いもあり、適切な良問だったため。(千葉)  
 ・選択肢の中で考える必要がある問題と、用語を答える問題のバランスが良かったと思います。(石川)  
 ・価格理論に関する出題がやや重複していると思える以外は、適切と考えます。(福井)  
 ・良問でした。(静岡)  
 ・小問の難易度のバランスもよく、学力を図る問題として適切だと思います。記述問題では、過去にあまり出題されてない問題が見られ、過去問中心に学習した生徒にとっては少し難しかったかもしれません。(京都)  
 ・教科書の内容を踏まえつつ、時事問題も盛り込まれている良問であった。(和歌山)  
 ・例年より難易度が上がったように思うが、全体としては良問。専門用語も多く、しっかりと学習をしていないと正解できない。(鳥取)  
 ・計算問題も適度に出題されており適切だと思う。(徳島)  
 ・教科書に準じた問題であり、適切であった。検定試験にふさわしい内容であった。(愛媛)  
 ・量・難易度ともに適切であったと感じる。(熊本)  
 ・やや難しいと感じました。(大分)

### 2. 問題別の難易度について該当箇所に○印をご記入ください

また、ご意見がありましたら、その内容を記事欄にご記入ください

番号	難しい	適切	易しい	記 事
1	0	35	1	・中古車市場の例は適切な問題であった。(岡山)
2	1	35	0	・問3「金融工学」という用語は生徒にとっては難易度が高いのではないか。(和歌山)
3	3	33	0	
4	1	34	1	
5	1	34	1	
6	0	34	2	・問3は単純に考えると答えはアだが、牛丼店はアニメとのコラボやトッピング牛丼を出していることから、差別化という考え方もできる。ウは立食にすることで回転率を上げ、ステーキ店としては低価格を実現していることから、価格競争という考え方もできるのではないか。(石川)
7	0	36	0	・問1については、良問であった。(岡山)
8	0	36	0	・問3については、良問であった。(岡山)
9	0	36	0	
10	2	34	0	・コロナの影響を取り上げていて良問だと思う。(福井) ・問2「インフラ」という略称が定着しており、正式な用語を答えられない生徒が多かった。(和歌山) ・問2カタカナ文字については、難解であった。(岡山)

番号	難しい	適切	易しい	記 事
11	4	32	0	・問2については、生徒にとって難解であった。(岡山)
12	6	30	0	・問3「受益者負担」の内容を理解できていない生徒が多かった。(和歌山) ・問3については、生徒にとって難解であった。(岡山)
13	3	33	0	・問3については、生徒にとって難解であった。(岡山)
14	2	34	0	・実際の記者会見内容に基づいた出題で、わかりやすい。(福井) ・時事問題としては、良問であった。(岡山)

### 3. その他ご意見がありましたらお願いします

・2024年問題など人手不足に関する出題を期待しています。(福井)  
 ・「ビジネス経済A」の各作問委員の先生に対して敬意を払います。さて、「ビジネス経済A」は第38回で終了ということで、作問アイデアをすべて出題されたのではとご推察します。ただ、記述式の用語については、過去に出題のなかった用語で生徒にとっては難解であった。そのため、例年よりも「ビジネス経済A」の合格率が低下した。(岡山)  
 ・他の科目と比較して、試験場校によって、合格率に差が出ていた。(合格率の高い学校と低い学校の差が激しかった)(愛媛)



## [6] 「ビジネス経済B」について

### 1. 問題は全般的に適切でしたか。

ア. 適 切【18】                      イ. 概ね適切【12】                      ウ. 不適切【0】

その理由についてご記入ください。

- ・選択肢の中で考える必要がある問題と、用語を答える問題のバランスが良かったと思います。(石川)
- ・しっかり読み取る力が必要で、生徒には基本的な出題も難しく思えるようである。(福井)
- ・良問でした。(静岡)(香川)
- ・教科書の内容を踏まえつつ、時事問題も盛り込まれている良問であった。(和歌山)
- ・部分的に難しいところもあるが、全体としては良問揃い。(鳥取)
- ・教科書に準拠した問題で、良問であった。時事問題も幅広く含まれ、適切である。計算問題もあり新鮮な感じがした。(岡山)
- ・全般的に適切な良問であった。(愛媛)
- ・量・難易度ともに適切であったと感じる(熊本)

### 2. 問題別の難易度について該当箇所に○印をご記入ください

また、ご意見がありましたら、その内容を記事欄にご記入ください

番号	難しい	適切	易しい	記 事
1	1	28	2	・良問。(鳥取) ・ジョブ型雇用の例は適切な問題であった。(岡山)
2	1	28	2	・良問。(鳥取) ・問3については、良問であった。(岡山)
3	3	28	0	・問2の記述は難しい。(鳥取)
4	2	27	2	・良問。(鳥取)
5	1	28	2	・良問。(鳥取) ・履修していなくても一般常識で答えられる内容である。(愛媛)
6	1	29	1	・良問。(鳥取)
7	1	29	1	・良問。(鳥取)
8	3	27	1	・良問。(鳥取) ・問3については、生徒にとって難解であった。(岡山) ・問3「敵対的買収」の正答率が低かった。(愛媛)
9	2	28	1	・問3 は選択式でも良かったのではないかと思います。(和歌山) ・良問。(鳥取) ・問2については、良問であった。(岡山) ・履修していなくても一般常識で答えられる内容である。(愛媛)
10	1	29	1	・良問。(鳥取) ・適切な問題であった。(岡山)
11	1	30	0	・良問。(鳥取) ・ケース事例としては、良問であった。(岡山)

番号	難しい	適切	易しい	記 事
12	1	28	2	・良問。（鳥取） ・履修していなくても一般常識で答えられる内容である。（愛媛）
13	1	28	2	・良問。（鳥取） ・ケース事例としては、良問であった。（岡山）
14	1	29	1	・良問。（鳥取） ・問2については、生徒にとって難解であった。（岡山）

### 3. その他ご意見がありましたらお願いします

・解答用紙をもう少し厚くしてほしい。（富山）  
 ・問題文が全て長くする必要はなく、用語の知識を問うだけの短い出題もあってよいと思う。生徒の中には、問題の読み疲れが見られる。（福井）  
 ・「ビジネス経済B」は第38回で終了ということで、経営分野の良問を「ビジネス・マネジメント」に利用してください。（岡山）

## [7] 「ビジネス・マネジメント」について

### 1. 問題は全般的に適切でしたか。

ア. 適 切【13】                      イ. 概ね適切【17】                      ウ. 不適切【0】

その理由についてご記入ください。

- ・基本的な問題が中心で良かった。(北海道)
- ・学んだことが生かせる内容であった(岩手)
- ・時事用語を使用しながら、用語を問う問題があるなど工夫がみられており適切である(富山)
- ・ひねった出題の問題が無かったので考えやすいと感じました。(石川)
- ・時事問題に沿った出題や良問が多いが、全ての問題が長文で答えにくいのが難点である。(福井)
- ・初回実施として無難で適切であった(大阪)
- ・教科書の内容を踏まえつつ、時事問題も盛り込まれている良問であった。(和歌山)
- ・初めての検定なので、今後の出題基準になると思います。(兵庫)
- ・総合的な力を見るのに適切である。(鳥取)
- ・教科書に準拠した良問である。難易度も適切であった。(岡山)
- ・良問である(香川)
- ・考えて答える問題が多いのは良いと思う。(愛媛)
- ・渋沢栄一、トラガールなど話題となる題材や松下幸之助など生徒にとって興味を持って解くことができる問題であった。(福岡)
- ・量・難易度ともに適切であったと感じる(熊本)

### 2. 問題別の難易度について該当箇所に○印をご記入ください

また、ご意見がありましたら、その内容を記事欄にご記入ください

番号	難しい	適切	易しい	記 事
1	0	29	1	・タイムリーな話題(大阪) ・宿泊業の例は適切な問題である。(岡山) ・出だしの出題として良問。(鳥取)
2	0	30	0	・良問。(鳥取)
3	0	30	0	・良問。(鳥取)
4	0	30	0	・PPMについては、良い問題である。(岡山) ・良問。(鳥取) ・PPMの図が教科書と違ったので、同じものを使用してほしい。(愛媛)
5	0	29	1	・問2の記述解答は良かった。(鳥取)
6	3	27	0	・問4は教科書によっては記載が少ないため、初めて実施する科目の語句解答としては難しいと感じました。(石川) ・問4「法定外(福利)」の解答欄は(福利厚生)まであったほうが、解答しやすかったように思います。(和歌山) ・サンプル問題3番の類題である。(岡山) ・社会に目を向け、考えてみるのに良い問題。(鳥取) ・問4「法定外福利費」という語は教科書にあるが、「法定外福利」という語は教科書にはない。(愛媛)

番号	難しい	適切	易しい	記 事
7	0	29	1	・良問。(鳥取)
8	1	29	0	・良問。(鳥取)
9	1	29	0	・マネジメントにおける財務諸表分析は適切な問題である。(岡山) ・良問。(鳥取)
10	0	30	0	・問3用語が教科書にないものがある。(愛媛) ・良問。(鳥取)
11	0	30	0	・良問。(鳥取)
12	1	29	0	・良問。(鳥取) ・クックチル方式など、範囲外の利用も説明があり、しっかりと対応できる(富山)
13	2	28	0	・問1については、生徒にとって難解である。(岡山) ・良問。(鳥取)
14	1	29	0	・良問。(鳥取)

### 3. その他ご意見がありましたらお願いします

- ・出題傾向が、もう少しわかると対策が容易となると思う(岩手)
- ・問題9の決算書のデータについて、1年目の純資産が2000で2年目の純資産が4000となると、普通に考えれば当期純利益は2000になる。評価換算差額等の増加分が1500であれば説明はつくかと思うが、1. 2年生の受験者のことを考えるとあまり適切ではないと思う。(神奈川)
- ・ビジネス経済Bよりも時事問題を多く取り上げていて、生徒には取り組みやすいと思う。ただ、問題文が長いのが難点と感じる。(福井)
- ・旧科目との組み合わせが複雑になり、生徒への説明が難しかった。新科目検定は、重要な情報なので、もっとはっきり解りやすく提示していただきたいと思いました。(問い合わせが何度もありました)(兵庫)
- ・用語を記述する問題は、教科書の太字のものを出题するのが適切だと思う。(愛媛)
- ・用語を答えるだけでなく、選択肢もしっかりと読み考えさせるものになっており良いと思う。(福岡)
- ・ビジネス基礎・ビジネスマネジメントの問題に「福利厚生」についての出題がある。同じ試験日に実施する検定としては、いかがなものか。(大分)

# 令和 5 年度 科目別・項目別出題基準

科目・項目は、文部科学省高等学校学習指導要領・商業編の分類による。

## 【3 級科目】

### ビジネス基礎

- (1) 商業の学習とビジネス
- ※ (2)～(5) に含める
- (2) ビジネスに対する心構え 5 問
- (3) 経済と流通 20 問
- (4) 取引とビジネス計算 15 問
- (5) 企業活動 10 問
- (6) 身近な地域のビジネス
- ※ (2)～(5) に含める

各 2 点・計 50 問

※形式別の出題内訳は以下の通りとする。

直接解答型 20 問 (4 題×5 問), 本文参照型 30 問

※直接解答型の出題形式は以下の 4 種類とする。

- ①関連事項の結合問題
- ②一定条件による細目分類問題
- ③解答群付きの空欄補充問題
- ④下線部の正誤判定・訂正問題

## 【1・2 級科目】

### マーケティング

- (1) 現代市場とマーケティング 12 問
- (2) 市場調査 8 問
- (3) 製品政策 } 15 問
- (4) 価格政策 } 15 問
- (5) チャネル政策 } 15 問
- (6) プロモーション政策 } 15 問

各 2 点・計 50 問

### 経済活動と法

- (1) 経済社会と法 5 問
- (2) 権利・義務と財産権 15 問
- (3) 取引に関する法 25 問
- ※「手形と小切手の利用」と「金融取引」については、
- (4) に含める。
- (4) 会社に関する法 (5 問) } 5 問
- (5) 企業の責任と法 (5 問) }

各 2 点・計 50 問

※ (4) と (5) は、いずれか 1 項目 (5 問) を選択するものとする。

### ビジネス経済 A

- (1) ビジネスと経済 7 問
- (2) 需要と供給 7 問
- (3) 価格決定と市場の役割 11 問
- (4) 経済成長と景気循環 15 問
- (5) 経済政策 10 問

各 2 点・計 50 問

### ビジネス経済 B

- (1) サービス経済化とサービス産業 6 問
- (2) 経済の国際化 15 問
- (3) 金融市場と資本市場 7 問
- (4) 企業経営 15 問
- (5) ビジネスの創造と地域産業の振興 7 問

各 2 点・計 50 問

### ビジネス・マネジメント

- (1) ビジネスとマネジメント 6 問
- (2) 組織のマネジメント 10 問
- (3) 経営資源のマネジメント 20 問
- (4) 企業の秩序と責任 } 14 問
- (5) ビジネスの創造と展開 }

各 2 点・計 50 問

- a. 設問数はいずれも基準であり、年度によって各項目の設問に若干の異同がある。
- b. 3 級科目の出題形式は直接解答型と本文参照型とし、1・2 級科目はすべて本文参照型とする。
- c. 1・2 級科目については、3 級の内容を踏まえたものとする。

令和5年度(第38回) 商業経済検定試験申込者・受験者・合格者数一覧表（令和6年2月4日実施）

NO	都道府県	本部校名	試験 場校 数	分会 場校 数	ビジネス基礎			マーケティング			経済活動と法			ビジネス経済A			ビジネス経済B			ビジネス・マネジメント			合 計			1級合格者	2級合格者	合格者数 総計
					申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格	申込	受験	合格			
1	北海道	釧路商	31	10	436	379	234	1,586	1,460	1,034	656	574	330	815	772	237	64	59	23	125	105	50	3,682	3,349	1,908	630	866	1,730
2	青森県	八戸商	8	0	149	146	105	412	391	241	107	103	60	102	97	26	4	4	4	28	28	20	802	769	456	74	236	415
3	岩手県	大東	16	2	862	821	591	769	720	471	293	257	136	223	194	60	130	102	49	155	151	98	2,432	2,245	1,405	254	469	1,314
4	宮城県	鹿島台商	10	2	607	563	441	367	336	257	247	210	151	138	127	58	18	17	10	78	77	63	1,455	1,330	980	207	207	855
5	秋田県	仁賀保	9	1	375	343	250	245	233	154	46	45	16	13	13	6	22	22	4	53	51	19	754	707	449	39	137	426
6	山形県	酒田光陵	9	1	588	555	461	413	390	260	250	228	99	215	206	88	41	41	27	30	30	22	1,537	1,450	957	165	255	881
7	福島県	帝京安積	14	1	247	219	142	591	560	392	228	196	97	217	205	114	2	2	2	89	87	66	1,374	1,269	813	244	306	692
8	茨城県	土浦第三	12	0	234	216	123	857	791	525	324	290	204	681	628	298	6	5	2	24	10	2	2,126	1,940	1,154	486	517	1,126
9	栃木県	宇都宮商	18	0	1,273	1,175	792	1,232	1,084	602	593	531	298	826	762	240	186	179	113	170	149	46	4,280	3,880	2,091	555	494	1,841
10	群馬県	利根商	10	1	886	834	690	1,294	1,192	902	912	790	481	663	548	136	296	266	122	162	158	113	4,213	3,788	2,444	721	708	2,119
11	埼玉県	幸手桜	21	1	1,621	1,493	897	1,636	1,483	860	584	477	323	338	301	101	148	92	21	140	132	100	4,467	3,978	2,302	383	883	2,163
12	千葉県	千葉商	13	0	694	611	398	1,023	910	545	342	311	172	314	277	90	14	14	10	60	55	19	2,447	2,178	1,234	247	491	1,136
13	山梨県	富士北稜	8	0	391	348	217	438	372	201	298	270	91	88	76	30	106	97	38	162	153	81	1,483	1,316	658	166	189	572
14	東京都	葛飾商	12	2	1,304	1,093	681	500	444	257	323	258	129	374	339	110	26	25	15	118	103	41	2,645	2,262	1,233	189	284	1,154
15	神奈川県	横浜商	7	1	100	92	77	602	513	335	182	161	60	93	85	27	12	10	9	63	59	22	1,052	920	530	98	281	456
16	新潟県	長岡商	9	1	289	277	247	933	872	689	377	359	232	72	70	35	10	10	5	33	31	19	1,714	1,619	1,227	281	612	1,140
17	富山県	高岡商	7	0	577	541	406	654	606	358	455	418	165	491	448	110	205	191	94	133	130	92	2,515	2,334	1,225	342	304	1,052
18	石川県	大聖寺実業	12	1	465	391	296	515	390	252	90	56	28	140	114	34	18	14	10	192	153	88	1,420	1,118	708	143	157	596
19	福井県	坂井	8	0	207	172	125	540	507	316	67	57	25	349	318	139	57	45	14	96	92	66	1,316	1,191	685	206	324	655
20	長野県	須坂創成	10	0	369	354	282	461	417	284	562	478	180	116	96	22	18	18	7	33	30	15	1,559	1,393	790	148	291	721
21	静岡県	磐田西	20	0	570	511	351	1,523	1,422	944	470	438	194	244	221	87	58	55	45	248	245	164	3,113	2,892	1,785	373	872	1,596
22	愛知県	岡崎商	31	3	1,588	1,434	972	1,374	1,286	975	339	302	150	501	457	181	61	53	32	113	107	74	3,976	3,639	2,384	334	886	2,192
23	岐阜県	関商工	18	1	238	214	136	1,110	1,016	692	270	227	103	707	632	240	54	43	31	130	122	72	2,509	2,254	1,274	317	713	1,166
24	三重県	松阪商	9	0	476	445	365	518	457	325	79	72	46	174	164	66	11	11	9	107	102	49	1,365	1,251	860	133	249	747
25	滋賀県	日野	7	0	64	59	30	297	267	163	23	20	9	147	138	48	8	8	7	107	82	56	646	574	313	100	96	226
26	京都府	丹後緑風	4	0	20	12	7	185	169	103	70	58	24	96	79	32	0	0	0	4	3	2	375	321	168	44	105	156
27	大阪府	淀商	8	0	418	356	190	286	234	120	12	11	8	67	57	15	4	4	1	319	253	109	1,106	915	443	82	144	416
28	兵庫県	神港橘	24	1	699	637	376	1,543	1,376	918	413	353	179	898	818	269	162	136	77	178	166	101	3,893	3,486	1,920	435	822	1,633
29	奈良県	奈良県立商	4	0	355	321	218	311	296	188	237	227	193	70	61	8	3	3	3	3	3	3	979	911	613	198	180	596
30	和歌山県	神島	5	0	48	37	16	482	422	249	38	32	7	343	303	53	14	13	8	6	5	2	931	812	335	50	239	305
31	鳥取県	鳥取商	3	1	264	258	233	188	165	107	63	58	24	25	24	10	43	38	29	69	62	26	652	605	429	72	77	382
32	島根県	松江商	6	0	332	299	198	433	391	266	49	39	11	83	70	27	91	58	21	126	125	53	1,114	982	576	106	189	493
33	岡山県	岡山東商	20	1	1,341	1,211	978	1,558	1,394	971	65	63	26	826	690	247	149	136	82	262	248	207	4,201	3,742	2,511	493	869	2,340
34	広島県	広島商	10	1	522	473	309	443	336	180	55	48	23	69	65	11	6	5	0	64	51	16	1,159	978	539	37	178	524
35	山口県	萩商工	12	0	664	632	477	577	543	367	123	104	40	225	215	81	8	8	7	46	45	32	1,643	1,547	1,004	156	317	950
36	香川県	高松商	9	1	393	357	243	530	476	290	261	234	111	35	30	8	22	17	11	1	1	1	1,242	1,115	664	142	257	642
37	徳島県	徳島商	9	0	522	472	301	435	357	166	25	25	13	85	64	13	138	98	27	93	81	33	1,298	1,097	553	76	111	488
38	愛媛県	宇和島東	18	4	872	807	534	997	908	609	504	425	250	682	615	159	420	328	179	236	226	160	3,711	3,309	1,891	650	45	

令和5年度(第38回) 商業経済検定試験受験者数一覧表

NO.	都道府県名	本部校名	試験場校	分会場校	ビジネス基礎			マーケティング			経済活動と法			ビジネス経済A			ビジネス経済B			ビジネス・マネジメント			R5 受験者 合計	R4	前年度 比較
					R5	R4	増 減	R5	R4	増 減	R5	R4	増 減	R5	R4	増 減	R5	R4	増 減	R5	R4	増 減			
1	北海道	釧路商	31	10	436	378	58	1,586	1,956	-370	656	757	-101	815	901	-86	64	137	-73	125		125	3,682	4,129	-447
2	青森県	八戸商	8	0	149	147	2	412	314	98	107	144	-37	102	87	15	4	14	-10	28		28	802	706	96
3	岩手県	大東	16	2	862	864	-2	769	682	87	293	409	-116	223	325	-102	130	253	-123	155		155	2,432	2,533	-101
4	宮城県	鹿島台商	10	2	607	545	62	367	403	-36	247	219	28	138	166	-28	18	34	-16	78		78	1,455	1,367	88
5	秋田県	仁賀保	9	1	375	364	11	245	201	44	46	69	-23	13	163	-150	22	0	22	53		53	754	797	-43
6	山形県	酒田光陵	9	1	588	595	-7	413	494	-81	250	208	42	215	308	-93	41	56	-15	30		30	1,537	1,661	-124
7	福島県	帝京安積	14	1	247	246	1	591	632	-41	228	195	33	217	174	43	2	5	-3	89		89	1,374	1,252	122
8	茨城県	土浦第三	12	0	234	232	2	857	886	-29	324	377	-53	681	727	-46	6	2	4	24		24	2,126	2,224	-98
9	栃木県	宇都宮商	18	0	1,273	1,241	32	1,232	1,396	-164	593	592	1	826	915	-89	186	295	-109	170		170	4,280	4,439	-159
10	群馬県	利根商	10	1	886	847	39	1,294	1,216	78	912	884	28	663	608	55	296	619	-323	162		162	4,213	4,174	39
11	埼玉県	幸手桜	21	1	1,621	1,423	198	1,636	1,198	438	584	672	-88	338	577	-239	148	116	32	140		140	4,467	3,986	481
12	千葉県	千葉商	13	0	694	742	-48	1,023	879	144	342	271	71	314	354	-40	14	8	6	60		60	2,447	2,254	193
13	山梨県	富士北稜	8	0	391	361	30	438	390	48	298	303	-5	88	252	-164	106	66	40	162		162	1,483	1,372	111
14	東京都	葛飾商	12	2	1,304	1,253	51	500	630	-130	323	307	16	374	401	-27	26	95	-69	118		118	2,645	2,686	-41
15	神奈川県	横浜商	7	1	100	96	4	602	548	54	182	310	-128	93	98	-5	12	27	-15	63		63	1,052	1,079	-27
16	新潟県	長岡商	9	1	289	378	-89	933	686	247	377	494	-117	72	69	3	10	17	-7	33		33	1,714	1,644	70
17	富山県	高岡商	7	0	577	589	-12	654	661	-7	455	309	146	491	708	-217	205	144	61	133		133	2,515	2,411	104
18	石川県	大聖寺実業	12	1	465	561	-96	515	422	93	90	95	-5	140	273	-133	18	20	-2	192		192	1,420	1,371	49
19	福井県	坂井	8	0	207	212	-5	540	593	-53	67	169	-102	349	441	-92	57	48	9	96		96	1,316	1,463	-147
20	長野県	須坂創成	10	0	369	366	3	461	586	-125	562	733	-171	116	133	-17	18	23	-5	33		33	1,559	1,841	-282
21	静岡県	磐田西	20	0	570	686	-116	1,523	1,851	-328	470	556	-86	244	320	-76	58	140	-82	248		248	3,113	3,553	-440
22	愛知県	岡崎商	31	3	1,588	1,656	-68	1,374	1,337	37	339	310	29	501	465	36	61	123	-62	113		113	3,976	3,891	85
23	岐阜県	関商工	18	1	238	259	-21	1,110	1,210	-100	270	285	-15	707	878	-171	54	39	15	130		130	2,509	2,671	-162
24	三重県	松阪商	9	0	476	549	-73	518	332	186	79	65	14	174	194	-20	11	37	-26	107		107	1,365	1,177	188
25	滋賀県	日野	7	0	64	38	26	297	332	-35	23	3	20	147	294	-147	8	5	3	107		107	646	672	-26
26	京都府	丹後緑風	4	0	20	25	-5	185	249	-64	70	74	-4	96	108	-12	0	0	0	4		4	375	456	-81
27	大阪府	淀商	8	0	418	458	-40	286	368	-82	12	52	-40	67	165	-98	4	4	0	319		319	1,106	1,047	59
28	兵庫県	神港橘	24	1	699	1,016	-317	1,543	1,356	187	413	562	-149	898	814	84	162	103	59	178		178	3,893	3,851	42
29	奈良県	奈良県立商業	4	0	355	355	0	311	347	-36	237	278	-41	70	72	-2	3	6	-3	3		3	979	1,058	-79
30	和歌山県	神島	5	0	48	84	-36	482	420	62	38	64	-26	343	242	101	14	15	-1	6		6	931	825	106
31	鳥取県	鳥取商	3	1	264	293	-29	188	87	101	63	38	25	25	92	-67	43	117	-74	69		69	652	627	25
32	島根県	松江商	6	0	332	372	-40	433	354	79	49	76	-27	83	130	-47	91	82	9	126		126	1,114	1,014	100
33	岡山県	岡山東商	20	1	1,341	1,332	9	1,558	1,422	136	65	194	-129	826	707	119	149	458	-309	262		262	4,201	4,113	88
34	広島県	広島商	10	1	522	400	122	443	636	-193	55	127	-72	69	223	-154	6	6	0	64		64	1,159	1,392	-233
35	山口県	萩商工	12	0	664	692	-28	577	612	-35	123	193	-70	225	252	-27	8	15	-7	46		46	1,643	1,764	-121
36	香川県	高松商	9	1	393	416	-23	530	436	94	261	241	20	35	77	-42	22	59	-37	1		1	1,242	1,229	13
37	徳島県	徳島商	9	0	522	527	-5	435	414	21	25	19	6	85	194	-109	138	44	94	93		93	1,298	1,198	100
38	愛媛県	宇和島東	18	4	872	809	63	997	882	115	504	563	-59	682	886	-204	420	491	-71	236		236	3,711	3,631	80
39	高知県	高知商	4	2	44	54	-10	317	362	-45	14	2	12	244	301	-57	1	9	-8	19		19	639	728	-89
40	福岡県	宇美商	18	0	642	1,047	-405	1,099	993	106	169	112	57	351	459	-108	2	4	-2	155		155	2,418	2,615	-197
41	佐賀県	鳥栖商	8	1	557	563	-6	373	263	110	68	79	-11	145	162	-17	3	12	-9	111		111	1,257	1,079	178
42	長崎県	佐世保商	12	2	709	869	-160	660	596	64	116	86	30	461	385	76	19	10	9	171		171	2,136	1,946	190
43	熊本県	熊本商	17	1	1,169	1,192	-23	744	639	105	300	324	-24	240	240	0	10	11	-1	94		94	2,557	2,406	151
44	大分県	大分商	16	3	865	906	-41	479	513	-34	390	392	-2	141	210	-69	27	15	12	30		30	1,932	2,036	-104
45	宮崎県	小林秀峰	13	0	164	156	8	760	596	164	66	99	-33	304	411	-107	8	50	-42	67		67	1,369	1,312	57
46	鹿児島県	串良商	28	2	1,524	1,535	-11	1,132	1,362	-230	319	478	-159	456	495	-39	72	52	20	72		72	3,575	3,922	-347
47	沖縄県	名護商工	8	1	615	879	-264	352	319	33	80	80	0	94	102	-8	1	6	-5	2		2	1,144	1,386	-242
		合計	585	49	27,349	28,608	-1,259	33,774	33,061	713	11,554	12,869	-1,315	13,981	16,558	-2,577	2,778	3,892	-1,114	4,777	0	4,777	94,213	94,988	-775

# 商業経済検定試験申込者数および合格率推移表

( )の数字は合格率(%)

科目 回	商業経済Ⅰ (流通経済)	商業経済Ⅱ		マーケティング	商業法規	合計
		(経営)	(経済)			
第1回(昭和61年度)	56,354(76.0)					56,354
第2回(昭和62年度)	62,055(40.4)	2,924(21.0)		3,060(20.0)	2,336(25.0)	70,375
第3回(昭和63年度)	64,346(74.9)	3,892(30.7)		4,659(32.6)	3,376(50.3)	76,273
第4回(平成1年度)	68,406(70.7)	5,447(42.2)		6,704(33.8)	5,717(43.2)	86,304
第5回(平成2年度)	69,772(60.2)	7,007(26.1)		8,520(36.7)	6,652(39.4)	91,951
第6回(平成3年度)	68,351(61.9)	8,792(45.0)		10,996(18.0)	8,359(53.2)	96,498
第7回(平成4年度)	65,572(77.3)	9,641 (17.0)	(22.1)	12,001(26.5)	11,408(56.8)	98,622
第8回(平成5年度)	64,177(53.6)	8,931 (26.7)	(26.1)	13,042(20.2)	12,122(30.5)	98,272
第9回(平成6年度)	60,613(67.6)	9,392 (33.8)	(17.1)	12,377(31.3)	11,704(51.0)	94,086
第10回(平成7年度)	59,191(46.8)	10,240 (19.1)	(39.3)	13,868(21.9)	12,166(30.7)	95,465
科目 回	流通経済	経 営	商業経済	マーケティング	商業法規	合計
第11回(平成8年度)	55,543(59.0)	1,274(24.8)	7,540(16.3)	12,598(28.8)	9,967(43.9)	86,922
第12回(平成9年度)	51,366(56.4)	1,000(13.0)	7,200(14.9)	12,189(25.4)	10,579(38.7)	82,334
第13回(平成10年度)	50,366(75.0)	903(25.9)	6,030(49.1)	12,585(35.3)	10,097(39.6)	79,981
第14回(平成11年度)	51,799(57.6)	1,205(17.3)	8,552(27.4)	14,124(16.3)	11,015(16.5)	86,695
第15回(平成12年度)	51,121(82.1)	1,370(38.4)	8,293(27.3)	14,390(54.4)	10,807(33.7)	85,981
第16回(平成13年度)	48,445(66.5)	1,408(21.7)	8,612(24.5)	16,301(16.6)	12,856(19.5)	87,622
第17回(平成14年度)	44,137(81.2)	1,504(36.1)	7,710(36.0)	16,694(57.3)	11,360(18.4)	81,405
科目 回	ビジネス基礎	経 営	商業経済	マーケティング	商業法規	合計
第18回(平成15年度)	40,729(85.7)	1,666(30.3)	9,416(21.8)	18,097(51.9)	11,415(17.6)	81,323
科目 回	ビジネス基礎	国際ビジネス	商品と流通	マーケティング	商業法規	合計
第19回(平成16年度)	38,917(81.2)	1,594(12.2)	18,179(53.8)	19,105(34.8)	10,820(23.7)	88,615
科目 回	ビジネス基礎	国際ビジネス	商品と流通	マーケティング	経済活動と法	合計
第20回(平成17年度)	37,383(76.1)	2,455(27.5)	23,436(34.2)	20,887(50.7)	9,753(44.6)	93,914
第21回(平成18年度)	37,584(80.6)	2,358(26.7)	25,090(49.3)	21,469(52.5)	9,816(25.6)	96,317
第22回(平成19年度)	38,150(68.3)	2,879(50.1)	29,591(32.6)	25,543(28.4)	9,748(38.7)	105,911
第23回(平成20年度)	36,564(85.3)	2,926(32.5)	31,854(39.5)	27,950(59.6)	10,596(39.8)	109,890
第24回(平成21年度)	37,014(77.7)	3,332(34.3)	35,434(43.6)	31,034(40.6)	9,962(37.0)	116,776
第25回(平成22年度)	38,797(82.5)	3,992(18.5)	36,514(50.9)	31,405(56.3)	10,188(30.2)	120,896
第26回(平成23年度)	36,952(83.1)	3,931(35.6)	38,219(37.0)	33,925(41.6)	10,411(55.2)	123,438
第27回(平成24年度)	39,604(80.4)	3,576(29.2)	39,216(42.4)	33,621(48.2)	10,262(30.8)	126,279
第28回(平成25年度)	38,368(70.1)	3,682(23.4)	38,321(51.8)	34,791(35.7)	9,888(40.0)	125,050



科目 回	ビジネス基礎	国際ビジネス	商品と流通	マーケティング	経済活動と法	ビジネス経済A	合計
第29回(平成26年度)	38,339(72.0)	3,033(21.6)	32,606(38.9)	41,570(38.9)	10,188(48.7)	3,678(28.1)	129,414
科目 回	ビジネス基礎	ビジネス経済B (国際ビジネス)	マーケティング	経済活動と法	ビジネス経済A	合計	
第30回(平成27年度)	37,747(73.7)	4,273(32.3)	41,915(38.3)	12,625(27.7)	15,186(22.9)	111,746	
第31回(平成28年度)	35,986(79.3)	5,805(22.8)	37,956(61.4)	13,293(39.2)	14,414(52.8)	107,454	
第32回(平成29年度)	35,407(79.5)	4,076(45.3)	37,380(48.4)	14,345(40.8)	17,707(41.5)	108,915	
第33回(平成30年度)	33,294(61.2)	5,048(53.7)	37,968(46.4)	14,506(50.8)	16,409(53.0)	107,225	
第34回(令和元年度)	32,498(80.3)	5,285(40.3)	36,989(43.2)	13,955(59.9)	15,660(64.1)	104,387	
第35回(令和2年度)	30,753(85.4)	4,264(60.1)	37,337(66.5)	14,279(53.4)	16,518(62.8)	103,151	
第36回(令和3年度)	28,430(80.0)	4,840(49.3)	34,115(66.6)	13,378(57.8)	16,333(72.1)	97,096	
第37回(令和4年度)	28,608(77.3)	3,892(38.6)	33,061(71.1)	12,869(59.2)	16,558(60.0)	94,988	
科目 回	ビジネス基礎	ビジネス経済B	マーケティング	経済活動と法	ビジネス経済A	ビジネス・マネジメント	合計
第38回(令和5年度)	27,349(69.8)	2,778(52.1)	33,774(65.1)	11,554(52.1)	13,981(34.7)	4,777(58.8)	94,213

注1 商業経済Ⅱの合格率は、第7回より(経済／経営)を表す。

注2 移行措置を実施したため、第9回と第10回の商業経済Ⅰには流通経済が、第10回の商業経済Ⅱには商業経済がそれぞれ含まれている。

## 令和5年度 第38回商業経済検定試験 第1級満点賞一覧表

No.	年度	回数	都道府県	在 籍 校	学年	該当科目
1	令和5年度	38	愛知県	愛知県立豊橋商業高等学校	3	マーケティング ビジネス経済A

＜商業経済検定試験 第1級満点賞＞

- ・同一年度受験の1級対象科目のうち、2科目以上で満点を得たものには、満点賞を授与する。
- ・平成8年度第11回検定より実施

＜過去の受領歴＞

No.	年度	回数	都道府県	所属学校名	学年	該当科目
1	平成8年度	11	沖縄県	沖縄県立南風原高等学校	1	商業経済 商業法規
2	平成22年度	25	静岡県	城南静岡高等学校	3	商品と流通 マーケティング
3	平成28年度	31	福島県	福島県立白河実業高等学校	3	マーケティング ビジネス経済A
4			山口県	山口県立防府商工高等学校	2	マーケティング ビジネス経済A
5	平成29年度	32	三重県	三重県立四日市商業高等学校	2	マーケティング ビジネス経済A
6	平成30年度	33	群馬県	太田市立太田高等学校	3	マーケティング 経済活動と法
7			福井県	福井県立福井商業高等学校	2	マーケティング ビジネス経済A
8			愛媛県	愛媛県立松山商業高等学校	1	マーケティング ビジネス経済A
9	令和2年度	35	静岡県	静岡県立静岡商業高等学校	2	マーケティング ビジネス経済A
10			愛知県	愛知県立東海商業高等学校	2	マーケティング ビジネス経済A
11			山口県	山口県立岩国商業高等学校	2	マーケティング 経済活動と法
12	令和3年度	36	栃木県	栃木県立宇都宮商業高等学校	1	マーケティング ビジネス経済A
13			埼玉県	埼玉県立八潮南高等学校	3	マーケティング ビジネス経済A
14			岐阜県	岐阜県立東濃実業高等学校	2	マーケティング ビジネス経済A
15			和歌山県	和歌山県立和歌山商業高等学校	2	マーケティング ビジネス経済A
16	令和4年度	37	栃木県	栃木県立宇都宮商業高等学校	1	マーケティング ビジネス経済A
17			千葉県	習志野市立習志野高等学校	2	マーケティング ビジネス経済A
18			山口県	山口県立萩商工高等学校	3	マーケティング ビジネス経済A

# 令和5年度 第38回商業経済検定試験 全科目合格者表彰一覧表

No	都道府県	学 校 名	表彰者数	
			学校別	都道府県別
1	北海道	北海道札幌東商業高等学校	1	14
2		北海道千歳高等学校	6	
3		北海道釧路商業高等学校	1	
4		北海道滝川西高等学校	1	
5		北海道帯広南商業高等学校	5	
6	青森県	青森県立三沢商業高等学校	3	3
7	岩手県	岩手県立盛岡商業高等学校	7	21
8		岩手県立水沢商業高等学校	7	
9		岩手県立宮古商工高等学校	1	
10		岩手県立久慈東高等学校	1	
11		岩手県立一関第二高等学校	2	
12	宮城県	東北生活文化大学高等学校	3	3
13	山形県	山形市立商業高等学校	13	17
14		山形県立米沢商業高等学校	4	
15	福島県	福島県立郡山商業高等学校	3	4
16		福島県立小高産業技術高等学校	1	
17	茨城県	水戸女子高等学校	2	2
18	栃木県	栃木県立宇都宮商業高等学校	9	42
19		栃木県立鹿沼商工高等学校	4	
20		栃木県立栃木商業高等学校	15	
21		栃木県立佐野松桜高等学校	3	
22		栃木県立足利清風高等学校	10	
23		宇都宮短期大学附属高等学校	1	
24	群馬県	群馬県立高崎商業高等学校	59	60
25		太田市立太田高等学校	1	
26	埼玉県	埼玉県立深谷商業高等学校	1	10
27		埼玉県立浦和商業高等学校	8	
28		埼玉県立大宮商業高等学校	1	
29	千葉県	千葉県立一宮商業高等学校	1	7
30		千葉経済大学附属高等学校	5	
31		千葉商科大学付属高等学校	1	
32	山梨県	甲府市立甲府商業高等学校	12	12
33	東京都	東京都立第一商業高等学校	1	2
34		東京都立第五商業高等学校	1	
35	神奈川県	横浜市立横浜商業高等学校	3	6
36		神奈川県立相原高等学校	1	
37		神奈川県立厚木商業高等学校	1	
38		横浜市立横浜総合高等学校	1	
39	富山県	富山県立富山商業高等学校	5	29
40		富山県立高岡商業高等学校	14	
41		富山県立新湊高等学校	8	
42		富山県立氷見高等学校	2	
43	石川県	石川県立金沢商業高等学校	4	7
44		石川県立大聖寺実業高等学校	2	
45		石川県立小松商業高等学校	1	

No	都道府県	学 校 名	表彰者数	
			学校別	都道府県別
46	福井県	福井県立武生商工高等学校	2	4
47		福井県立福井商業高等学校	1	
48		福井県立敦賀高等学校	1	
49	長野県	松商学園高等学校	6	6
50	静岡県	静岡県立沼津商業高等学校	2	2
51	愛知県	愛知県立犬山高等学校	2	12
52		愛知県立古知野高等学校	7	
53		愛知県立東海樟風高等学校	1	
54	岐阜県	愛知県立岡崎商業高等学校	2	2
55		岐阜県立大垣商業高等学校	1	
56		関市立関商工高等学校	1	
57	三重県	三重県立津商業高等学校	2	2
58	大阪府	興国高等学校	1	1
59	兵庫県	兵庫県立神戸商業高等学校	8	15
60		兵庫県立篠山産業高等学校	3	
61		兵庫県立小野高等学校	1	
62		兵庫県立姫路商業高等学校	1	
63	奈良県	尼崎市立尼崎双星高等学校	2	1
64		奈良県立商業高等学校	1	
65		鳥取県立鳥取商業高等学校	2	
66	岡山県	岡山県立倉敷商業高等学校	2	4
67		岡山市立岡山後楽館高等学校	2	
68	山口県	山口県立防府商工高等学校	3	3
69	徳島県	徳島県立海部高等学校	1	1
70	愛媛県	愛媛県立松山商業高等学校	44	103
71		愛媛県立新居浜商業高等学校	2	
72		愛媛県立西条高等学校	6	
73		愛媛県立東温高等学校	3	
74		愛媛県立大洲高等学校	18	
75		愛媛県立八幡浜高等学校	25	
76	佐賀県	愛媛県立宇和島東高等学校	5	2
77		佐賀県立佐賀商業高等学校	1	
78		佐賀県立鹿島高等学校	1	
79	長崎県	長崎市立長崎商業高等学校	4	4
80	熊本県	熊本県立熊本商業高等学校	2	4
81		熊本信愛女学院高等学校	2	
82	大分県	大分県立大分商業高等学校	1	9
83		大分県立中津東高等学校	4	
84		大分県立安心院高等学校	2	
85		大分県立別府翔青高等学校	1	
86	宮崎県	大分高等学校	1	5
87		宮崎学園高等学校	5	
88		鹿児島県立鹿児島島南高等学校	3	
89	鹿児島県立南大隅高等学校	1		
90	鹿児島県立明桜館高等学校	2		
合 計			424	

過去の表彰校・表彰者数合計一覧表

年度	平成17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和1	令和2	令和3	令和4
表彰校	18	31	58	62	79	74	95	90	79	78	69	65	80	78	92	95	95	101
表彰者	32	77	197	152	232	211	366	300	344	310	255	271	241	416	448	497	513	489

※令和6年2月29日現在  
※平成17年度より実施

# 令和6年度 科目別・項目別出題基準

科目・項目は、文部科学省高等学校学習指導要領・商業編の分類による。

## 【3級科目】

### ビジネス基礎

- (1) 商業の学習とビジネス
- ※ (2)～(5) に含める
- (2) ビジネスに対する心構え 5問
- (3) 経済と流通 20問
- (4) 取引とビジネス計算 15問
- (5) 企業活動 10問
- (6) 身近な地域のビジネス
- ※ (2)～(5) に含める

各2点・計50問

※形式別の出題内訳は以下の通りとする。

直接解答型 20問 (4題×5問), 本文参照型 30問

※直接解答型の出題形式は以下の4種類とする。

- ①関連事項の結合問題
- ②一定条件による細目分類問題
- ③解答群付きの空欄補充問題
- ④下線部の正誤判定・訂正問題

### ビジネス法規

- (1) 法の概要 10問
- (2) 企業活動と法規 15問
- (3) 知的財産と法規
- ※ (1)(2)(4)(5) に含める
- (4) 税と法規 7問
- (5) 企業責任と法規 18問

各2点・計50問

### ビジネス・マネジメント

- (1) ビジネスとマネジメント 6問
- (2) 組織のマネジメント 10問
- (3) 経営資源のマネジメント 20問
- (4) 企業の秩序と責任
- (5) ビジネスの創造と展開

14問

各2点・計50問

## 【1・2級科目】

### マーケティング

- (1) 現代市場とマーケティング 12問
- (2) 市場調査 8問
- (3) 製品政策
- (4) 価格政策
- (5) チャンネル政策
- (6) プロモーション政策

15問

15問

各2点・計50問

### 商品開発と流通

- (1) 現代市場と商品開発・流通 10問
- (2) 商品の企画
- (3) 事業計画
- (4) 流通とプロモーション 10問

30問

各2点・計50問

- a. 設問数はいずれも基準であり、年度によって各項目の設問に若干の異同がある。
- b. 3級科目の出題形式は直接解答型と本文参照型とし、1・2級科目はすべて本文参照型とする。
- c. 1・2級科目については、3級の内容を踏まえたものとする。

# 各種確認事項

## 商業経済検定試験 1 級の合格の条件について（令和 7 年度まで）

商業経済検定試験の 1 級の条件については、令和 4 年度からの新科目への移行に伴い、受験生への教育的配慮から、次のように定めます。

※ 1 級合格は、前年度までに合格した科目を含め 1・2 級科目を 2 科目以上合格した年度時に申請し、認定されます。

※ 次の 3 科目については、同等の科目と位置づけ、どちらか 1 科目といたします。

- (1) 新・旧「マーケティング」
- (2) 「経済活動と法」と「ビジネス法規」
- (3) 「ビジネス経済 B」と「ビジネス・マネジメント」

## 商業経済検定試験の段階実施表

	科目の切り替え					
令和4年度 第37回検定 (R.5.2月実施)	新ビジネス 基礎	旧マーケティング		経済活動と法	ビジネス経済A	ビジネス経済B
令和5年度 第38回検定 (R.6.2月実施)	新ビジネス 基礎	新マーケティング		経済活動と法	ビジネス経済A	ビジネス経済B ビジネス・ マネジメント
令和6年度 第39回検定 (R.7.2月実施)	新ビジネス 基礎	新マーケ ティング	商品開発と 流通	ビジネス法規	ビジネス・マネジメント	

## 全科目合格者表彰の段階的实施について

高校在学中に 5 科目以上に合格した時点で、全科目合格者表彰をします。申請手続きは、必要ありません。  
なお、実施科目の移行に伴い、令和 6 年度～令和 8 年度については、下記の①～⑥に分類された科目のなかからそれぞれ 5 科目以上に合格した者を全科目合格者と認定し、表彰します。

	①	②	③	④	⑤	⑥
令和 6 年度	新ビジ基	旧マーケ または新マーケ	経法 またはビジ法	ビジ経 A	ビジ経 B またはビジ・マネ	商品・流通
令和 7 年度	新ビジ基	新マーケ	経法 またはビジ法	ビジ経 A	ビジ経 B またはビジ・マネ	商品・流通
令和 8 年度	新ビジ基	新マーケ	ビジ法	ビジ・マネ		商品・流通

※新学習指導要領と現行の科目と同じ科目名については、新旧をつけています。

## 商業経済検定試験と日本商工会議所主催の「リテールマーケティング（販売士）検定試験」とのリンケージ制度について

商業経済検定試験の所定の科目に合格すると、受験日の属する年度の翌年度末までの「リテールマーケティング（販売士）検定試験」3 級において、筆記試験の一部の科目が免除されるリンケージ制度が、平成 18 年 7 月から実施されています。

### ・免除科目について

	商業経済検定試験 合格科目	リテールマーケティング検定試験 3 級 免除科目
パターン 1	・「ビジネス基礎」 ・「マーケティング」 (2 科目合格)	・「マーケティング」 (1 科目免除)
パターン 2	・「ビジネス基礎」 ・「マーケティング」 ・(1)「経済活動と法」(2)「ビジネス経済 A」 (3)「ビジネス経済 B」(4)「ビジネス・マネジメント」 (5)「商品開発と流通」(6)「ビジネス法規」 上記(1)から(6)の 6 科目のうちいずれか 1 科目 (3 科目合格)	・「マーケティング」 ・「販売・経営管理」 (2 科目免除)

※受験手続や、免除の有効期限等の詳細は日本商工会議所にお問い合わせください。